

OCP ORV3ラック 個別受注対応

OCP (Open Compute Project) 準拠の次世代データセンターラックOCP ORV3ラックを個別受注対応にて承ります。

【OCP (Open Compute Project) とは】

OCPは、Meta社 (旧Facebook) が中心となり設立した非営利団体です。データセンターのハードウェア設計をオープンソース化することでイノベーションを促進し、効率的なデータセンターの構築を目的としたプロジェクトです。OCPではサーバ、ストレージ、ネットワーク機器、ラックなど様々なハードウェアの仕様が作成、公開されています。

当社はOCPに加盟し、その普及を推進しています。(2026年3月時点)



改1

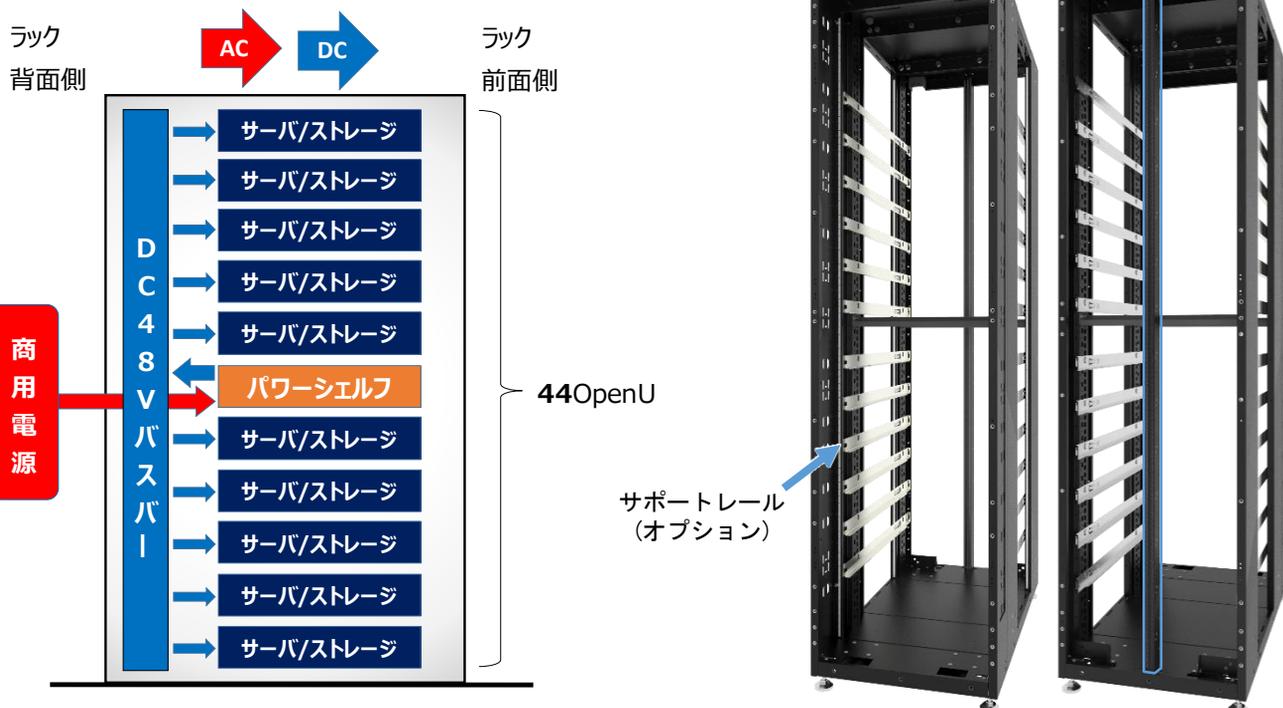
【OCP ORV3】

OCPでは、ラック (Open Rack) はV1からV3の仕様が公開されており、最新は「ORV3ラック」です。搭載されるOCP準拠のIT機器の幅サイズが21インチ (約533mm) を基本としていることから、「21インチラック」とも呼ばれます。これは従来のデータセンターで主流である19インチラックと比べて、より効率的な冷却や高密度な機器の搭載を可能にするOCP独自の設計思想に基づいています。

特長

■ 高効率・省エネ

- ・ DC48V対応のバスバーを介して各IT機器に直流給電が可能です。
- ・ AC/DC変換回数を抑え、変換時の電力損失を抑制します。



■省施工・メンテナンス性

- ・ラック内部に搭載するOCPに準拠したパワーシェルフ、IT機器はラッチ機能を有しており、ラックマウント時にねじ止めが不要で着脱が容易です。電源コネクタもプラグイン方式でバスバーにワンタッチで接続が可能です。

- ・OCPに準拠した機器はケーブル類、スイッチなどが機器の前面に配置されるため、メンテナンスはすべて前面からアクセスが可能です。

サーバーなど
OCP IT機器

OCP
パワーシェルフ



機器搭載イメージ
(前面側)

■オプション

- ・各種オプションも承ります。



サポートレール
(IT機器用)



サポートレール
(パワーシェルフ用)



19インチブラケット



スタビライザ



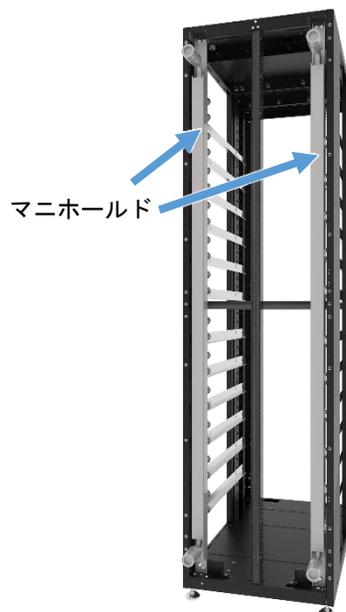
ドアユニット



側板

■液冷対応 (DLC)

- ・ラック背面側に液冷マニホールドが取付が可能です。マニホールドと液冷サーバに組み込まれているBMQC(Blind Mate Quick Coupling)により、プラグイン方式でマニホールドと液冷サーバの接続が可能です。



マニホールド

マニホールド取付イメージ
(背面側)

仕様

外径寸法※ mm			OpenU (OU) 数 (1OU=48mm)
ヨコ	タテ	フカサ	
600	2286	1068	44

■ OCP仕様書 Open Rack V3 Base Specification準拠

※キャスター、レベルフット取付状態の寸法です。

改1

発売時期

2025年 6月下旬

初版 2025年6月発行